

《政治経済学研究科主催》 講座:社会科学研究的技法 ～学術論文の作成と発表に向けた A to Z～ 参加者募集について

政治経済学研究科では、政治経済学研究科在学生（博士前期課程・博士後期課程）を対象に

講座：社会科学研究的技法～学術論文の作成と発表に向けた A to Z～ を開催します。

本講座は、学術論文の作成から発表までに必要とされるスキルを総合的に培うことを目的としており、大学院生としてより良い学位論文を執筆し、その研究成果を効果的に発表するために大変役立つ内容です。

是非、ご参加ください！（事前申込み必須）

◆日 時：2018年10月20日（土） 10:00～16:10

◆会 場：4021教室（グローバルフロント2階）

◆申込み期限：2018年10月11日（木）

※申込み期限を過ぎた場合も参加をご希望の方は事務室までご相談ください。

◆申込み方法：Oh-o!Meiji のアンケート機能から、

【10/20 政経研】学術論文の作成と発表に向けた A to Z 参加申込みフォーム

に回答してお申込みください。

◆注意事項：当日はノートパソコンを持参してください。

第Ⅲ部の後半では、参加者のうち、3名程度にパワーポイントを用いた研究報告を行っていただきます。発表を希望する方は、申込み時に申告してください。

<<講座概要>>

第Ⅰ部：作文やレポートとは異なる学術論文とはなにか。その学術性を担保する根拠はどのように収集し提示していくのか。根拠は文献や一次資料に基づいていなければならないが、それらを図書館でいかに探索すればいいのか。これについて明治大学図書館の職員が解説し、あわせてデータベース検索のトレーニングをその場で行う。

第Ⅱ部：社会科学の研究対象の特徴は、それを再現して検証できない点である。自然科学であれば、実験室で同じ事象の再現を繰り返し行うことができる。社会科学では実験に代わって、比較を用いて仮説に説得力と客観性をもたせる。すなわち、比較は社会科学研究にとって有力な技法なのである。そこで第Ⅱ部では、『代議制民主主義の比較研究』（慶應義塾大学出版会 2014年）の編著者をつとめられた慶應義塾大学法学部の小林良彰教授にご講演いただき、代議制民主主義の「質」に注目して比較の技法を学ぶ。

第Ⅲ部：パワーポイントを利用した効果的なプレゼンテーションは、学会・研究会等において自己の研究成果をより効果的に発信しアピールすべき研究者・大学院生のみならず、高度職業人をめざす学生にとっても、ぜひ磨いておくべき重要なスキルであろう。そこで第Ⅲ部では、効果的なプレゼンテーションとそのためパワーポイント作成方法のポイントについて、特にビジネス分野における実践および指導経験の豊富な経営コンサルタント鎌岡徳幸氏にご講演いただく。さらに後半では、参加学生数名がそれぞれ10分間程度のパワーポイントによる研究報告を行い、講師にご講評をいただく。

10月20日（土） スケジュール

10:00 ～ 11:00	第Ⅰ部：図書館活用法（データベースの使い方等） 【講師】久松 薫子 氏（明治大学 中央図書館事務室）
11:00 ～ 11:10	休 憩
11:10 ～ 12:40	第Ⅱ部 講演「代議制民主主義の「質」の比較研究」 【講師】小林 良彰 氏（慶應義塾大学 法学部 教授）
12:40 ～ 13:40	昼 休 憩
13:40 ～ 15:00	第Ⅲ部 講演「プレゼンを活かす人とダメにする人のたった一つの違い」 【講師】鎌岡 徳幸 氏（株式会社カマオカ 代表取締役）
15:00 ～ 15:10	休 憩
15:10 ～ 16:10	第Ⅲ部 大学院生によるプレゼンとその講評 【講師】鎌岡 徳幸 氏（株式会社カマオカ 代表取締役）

以 上